

## Ⅳ 生活場面「心や体、命を大切にする」

### 1. めざすべき姿と現状の評価・課題

#### <めざすべき姿>

障がい者が必要な医療や相談をいつでも受けることができる

#### <現状の評価と課題>

近年、障がい者の高齢化が進行し、医療との関わりが一層強くなっています。

また、在宅の重症心身障がい児者は、医療技術の進歩により高度な医療的ケアを必要とする方が増えており、介護者の負担が過重となっている状況が明らかとなってきました。さらに、高次脳機能障がい者への支援については、障がいの特性から症状が理解されず、なかなか適切な医療につながらないとの問題が指摘されています。

医療を必要とするすべての障がい者が、生涯を通じて、いつでも必要な医療サービスを過大な負担なく受けることができるようにすることが必要です。

また、身体機能に障がいが生じたときに、早期の社会復帰が可能となるよう、身近な地域で質の高いリハビリテーションを受けることができるようにする必要があります。

さらに、障がい者やその家族の悩みや相談を聞き、適切な助言・アドバイスを行うなど、障がい者を孤立させない取組みが重要です。

#### 【今後の主な課題】

- 障がい者が身近な地域で過度な負担なく安心して医療サービス受けることができる環境の整備
- 医療依存度の高い重症心身障がい児者等への支援の充実
- 高次脳機能障がい者支援の充実

### 2. 個別分野ごとの施策の方向性

#### (1) 必要な健康・医療サービスを受ける

##### ①医療サービスの充実

○ 障がい者が身近な地域で安心して医療を受けられるよう、さまざまな障がい種別に対する医療機関や医療スタッフの理解を深めるため啓発に努めるとともに、診療拒否等の相談や苦情に対し、各保健所に設置されている医療相談窓口において対応します。

また、医療費等の公費負担制度により、重度の障がい者が医療を受ける際に負担金や手続き面で過度の負担が生じないようにします。

- 発達障がい者の中には、成人になって初めて発達障がい判明する場合もあることから、医療機関において青年期以降の人の発達障がいを的確に診断できるよう取り組みます。
- 脳血管疾患、心血管疾患、糖尿病の患者が安心して医療を受けることができるよう、地域・医療連携の推進に努めます。
- 障がいの重度化・高齢化に伴い、医療との連携場面が増えており、医療と福祉の円滑な連携が必要です。特に、入院時の福祉サービスの提供については、障がい者が安心して入院できる環境が整備されるよう市町村に働きかけます。
- 精神科病院の入院患者の療養環境の向上や、各保健所で行っているところの健康相談等の充実を図ることにより精神疾患に関する早期の治療を推進します。また、難病患者に対する支援の充実を努め、訪問指導を充実します。さらに、身近な地域で障がい者歯科診療ができる医療機関の充実を努めます。

#### ②医療依存度の高い重症心身障がい児者等への支援の充実

- 医療依存度の高い重症心身障がい児者<sup>1</sup>等を取り巻くさまざまな課題の解決に向けて、保健・医療・福祉・教育等関係機関の円滑な連携体制のもと、地域生活の維持・継続のための地域ケアシステムの強化と福祉サービス等の充実に取り組みます。  
また、市町村における医療依存度の高い重症心身障がい児者等に関する関係機関の協議の場の設置支援や、専門人材の育成を行うとともに、大阪府全体の協議の場を設置し、連携しながら課題等について検討を進めます。

#### 【数値目標（平成 30 年度）】

- ・ 医療依存度の高い重症心身障がい児者等に関する大阪府の協議の場を設置
- ・ 医療的ケア児等に関する保健所圏域等での協議の場を充実
- ・ 医療依存度の高い重症心身障がい児者等に関する協議の場を全ての市町村において設置

- 医療的ケアに対応できる居宅介護事業所、短期入所事業所や日中活動系サービス事業所、グループホーム等の拡大を図ります。
- 一定の研修を受講した介護職員等に関するたん吸引等の制度を適切に運用し、障がい福祉分野において医療的ケアに従事する人材の養成や確保を図ります。

<sup>1</sup> 「重症心身障がい児者」とは、身体障がい者手帳（1級・2級）及び療育手帳（A）を交付された障がい児者をいいます。

【数値目標（平成 32 年度）】

・喀痰吸引等を実施する障がい福祉サービス事業所数：新たに 180 事業所

③二次障がいへの対応

- 脳性まひの二次障がいや脊髄損傷の合併症等のある方など障がい者が身近な地域で安心して医療が受けられるよう、障がい者地域医療ネットワークを推進します。

(2) (医学・社会的) リハビリテーションを受ける

- 身近な地域で質の高いリハビリテーションを受けることができるよう、保健、福祉、労働などの関係機関と連携し、情報交換等を行うことにより地域リハビリテーションの向上を図るとともに、地域リハビリテーションに関する情報を広報します。
- 障がい者の多様なニーズに即して、治療の当初から医療リハビリテーション及び地域生活への移行に向けた生活リハビリテーションまでのトータルなリハビリテーションが提供されるよう、障がい者医療・リハビリテーションセンターの医療部門と福祉部門の連携を強化します。  
また、センターが市町村と連携し、地域におけるリハビリテーション・ネットワークづくりを推進します。
- 高次脳機能障がい者が、身近な地域で、相談、医療機関での診断、リハビリテーションといった段階から、就労支援や福祉サービスの提供の段階に円滑に移行できるよう、市町村に対し、取組みを働きかけます。  
また、医療機関、福祉事業所等に対する研修を通じ、医療・介護に関わる支援者がそれぞれの役割を適切に果たし、医療機関退院後においても当事者の生活能力等の維持・向上に向けた取組みが円滑に進むよう支援します。

(3) 悩みについて相談する

- 障がい者やその家族が抱えるさまざまな悩みに寄り添い、障がい特性を理解し、身近なところで適切なアドバイスを行う相談支援を充実するとともに、市町村や支援機関等に対するサポートも充実します。  
また、保健所やこころの健康総合センターなどで実施しているこころの健康に関する相談を充実します。
- ピアカウンセリングやピアサポートを相談支援事業に位置づけるとともに、一層の普及を図ります。

【数値目標（平成 32 年度）】

- ・ピアカウンセリング実施市町村数：43（すべての市町村）

- 身体障がい者相談員、知的障がい者相談員及び精神障がい者相談員の専門的な相談対応力を向上させることにより、活動の活性化を図ります。  
また、障がい者に身近なかかりつけ相談員の役割を担えるよう検討を進めます。

## 『豊能圏域重症心身障がい児者連絡会議』

重症心身障がい児者の支援には、医療と福祉が円滑に連携することが重要であり、地域生活の維持・継続のためには多職種の関係機関の連携が必要となることから、大阪府では支援のあり方について模索してきました。

そうした中、平成 29 年度から、豊能圏域において、市町村自らの取組みによる重症心身障がい児者の持続的な地域生活の確保のための連絡会議がスタートしました。市町村がそれぞれの社会資源をはじめとした課題を認識した上で、日々の繋がりを活用して連携する場を圏域に置いたものであり、具体的な支援策を協議するため、基幹相談支援センターを議論の中心としつつ、輪番制の幹事市が会議の開催等の役割を担います。

平成 29 年度は、幹事市から提供されたさまざまな事例をもとに、課題を整理すると共に、解決に向けた議論が行われています。今後も各地域内で課題を共有することで、地域全体の支援力の向上が期待されます。

## 『障がい福祉サービス等体験会』

障がい福祉サービスの体験による利用促進を目的に、大阪府では、平成 26 年度より重症心身障がい児者とその家族を対象とした体験会を実施しています。障がい児者に対しては、音楽療法・スヌーズレン体験<sup>※</sup>・リハビリ等を実施するとともに、家族に対しては、お互いの不安や悩みなどを話しあう時間を作れるように参加者交流会を実施しています。また、放課後等デイサービスや短期入所などに関する個別相談ブースを設けている他、補装具・日常生活用品の展示も実施しています。

平成 28 年度・平成 29 年度は訪問看護師向けの研修と併せて実施したことで、訪問看護師等にとっては、重症心身障がい児者と直接触れ合い、理解を深める機会ともなりました。終了後のアンケートでは、家族の方からは「子どもが楽しそうに見えた」「慣れない感覚に子どもは戸惑っていたが、それも良い経験だと思う」などの意見がありました。また、研修に参加した訪問看護師の方からは、「家族の生の声が聞いてとても良かった。各家庭の思いやまわりの関わりなどを知ることができてよかった。」などの意見がありました。参加者の交流の場では、「同じような悩みをもつ方と話せて良かった」「先輩の意見を聞いて良かった」との意見が多数を占め、体験会に参加した多くの重症心身障がい児者や参加者にとって、有益な場となりました。

今後こうしたニーズが一層高まると考えられることから、より多くの市町村において、地域の状況に応じた交流や体験の機会が確保されるよう、大阪府として取り組んでいきます。

※ スヌーズレンとは、オランダで 1970 年に取組みが始まった活動で、近年、日本でも取り組まれるようになっていきます。スヌーズレンの語源は 2 つのオランダ語、スニッフレン〈クンクンとあたりを探索する〉、ドゥースレン〈ウトウトくつろぐ〉から造られた造語であり、「自由に探索したり、くつろぐ」様子を表しています。障がいのある方が、光や音などの感覚を刺激する機器が配置された空間で、その刺激を楽しみ、リラックスすることなどを目的に行われています。

### 3. 具体的な取組みと目標

具体的な取組み	目標
(1)必要な健康・医療サービスを受ける ①医療サービスの充実	
<p>○周産期緊急医療体制の整備・充実(地域保健課)</p> <p>極小未熟児など重症新生児や、母胎・胎児が危険な状態にある妊産婦を集中治療施設を有する専門医療機関に緊急搬送し、適切な医療が受けられる体制を確保するために、産科、新生児科の連携のもと、24時間受入れ可能な病院の確保や患者の搬送体制、情報システムの整備・充実を図るとともに新生児外科との連携強化に取り組みます。</p>	
<p>○医療機関や医療スタッフの理解を深めるための取組み(地域生活支援課)</p> <p>医療機関に望まれる障がい者への配慮等を記載した「障がい者配慮ガイドブック」等を作成しており、さまざまな機会を通じて関係機関に周知等を図り、障がいのある方が身近な地域で安心して医療を受けることができるよう普及・啓発に努めます。</p>	
<p>○障害者総合支援法に基づく自立支援医療費に対する公費負担(指導監査課、地域保健課、こころの健康総合センター)</p> <p>障害者総合支援法に基づき、自立支援医療の認定を受けた障がい者等の支給対象疾患の医療に要する費用に対し公費負担を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援医療(育成医療)</li> <li>・自立支援医療(更生医療)</li> <li>・自立支援医療(精神通院医療)</li> </ul>	<p>《参考》</p> <p>平成28年度実施状況</p> <p>&lt;育成医療&gt;</p> <p>件数7,363件</p> <p>大阪府負担金(1/4負担)</p> <p>37,627千円</p> <p>&lt;更生医療&gt;</p> <p>件数128,198件</p> <p>大阪府負担金(1/4負担)</p> <p>4,554,196千円</p> <p>&lt;精神通院医療&gt;</p> <p>件数92,938件</p> <p>医療費支払額</p> <p>13,264,294千円(うち国庫負担6,780,839千円)</p>
<p>○重度の障がい者に対する医療費等の公費負担(障がい福祉室、国民健康保険課)</p> <p>医療のセーフティネットの観点から、重度の障がい者が医療機関等の窓口で負担する医療費等の一部を助成する市町村に対し、助成額の1/2を補助します。</p>	<p>《参考》</p> <p>平成28年度実施状況</p> <p>対象者数60,906人</p> <p>大阪府補助額(1/2補助)</p> <p>4,934,179千円</p>
<p>○小児慢性特定疾病医療費助成制度(地域保健課)</p> <p>小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、健全育成の観点から、患児家庭の医療費の負担軽減を図るため、その医療費の自己負担分の一部が助成されます。</p>	<p>《参考》</p> <p>平成28年度実施状況</p> <p>承認延べ件数6,735件</p> <p>1,154,173千円</p>
<p>○難病患者に対する医療費援助(地域保健課)</p> <p>難病に対する適正医療の普及を推進するため、指定された疾病について、医療費援助による負担軽減を行います。</p>	<p>《参考》</p> <p>平成28年度実施状況</p> <p>交付件数</p> <p>指定難病分</p> <p>72,251件</p> <p>11,505,151千円</p> <p>特定疾患分</p> <p>130件</p> <p>25,805千円</p>
<p>○発達障がいにかかる専門的な医療機関の確保(再掲)(地域生活支援課)</p> <p>発達障がいの確定診断が可能な医療機関の拡充を図るため、小児科医、精神科医を対象とした養成研修を実施してきましたが、なお診療待ち時間が長い状況であるため、専門医師を養成し、医療機関の確保に努めます。</p> <p>また、発達障がいの診断等にかかる専門医療機関に関する情報をホームページでご覧いただけるようになりました。今後は正確な情報提供に努めていきます。</p>	<p>目標値(平成32年度)</p> <p>ネットワーク登録医療機関での診療待ち時間の短縮を図る</p>

<p>さらに、二次医療圏毎に1か所程度、圏域の医療機関の研修や診療支援の機能を備える医療機関を確保し、圏域における医療機関同士の連携を図ります。また、府が作成する支援ツールの活用等を通じて、ネットワーク登録医療機関における医療と福祉の連携の強化を図ります。</p>	
<p>○医療連携の推進(健康づくり課) 二次医療圏毎に、脳血管疾患、心血管疾患、糖尿病の患者にかかる医療連携の状況を、地域で診療に携わる医療従事者間で共有する会議を開催し、地域の実情に応じて、連携体制の充実を図ります。</p>	
<p>○精神科病院入院患者の療養環境の向上(こころの健康総合センター) 精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保を図るため、精神科病院実地指導や措置入院患者等の実地審査、精神医療審査会の充実に努めます。 また、人権に配慮した医療提供体制を構築すること等により療養環境の向上を図るため、精神科医療機関療養環境検討協議会において、参画団体等から収集した情報等を検証し、各病院における取組みや実践例についての情報提供及び共有化を図ります。</p>	
<p>○精神疾患の早期治療の推進(地域保健課) 各保健所において、精神科嘱託医師による相談(こころの健康相談事業)を実施するとともに、電話相談に応じ、精神科受診等に必要な情報提供や助言を行います。 また、夜間・休日において、精神疾患の急性憎悪等により治療が必要な場合に対応するため、精神科救急医療体制整備事業として、救急病院を確保し、適切な医療を提供します。</p>	<p>《参考》 平成28年度実施状況 大阪府精神科救急医療情報センター対応件数 2,564件 夜間・休日精神科身体合併症支援システム利用件数 236件</p>
<p>○大阪難病医療情報センターの運営(地域保健課) 大阪難病医療情報センターについて、難病の医療に関する情報の収集・発信機能を強化し、保健所難病対策事業への支援、大阪難病医療ネットワーク事業等大阪府内の医療機関の連携を推進することにより、地域での在宅難病患者に関する総合的な支援体制の確保を図ります。 ・難病医療に関する電話、面接相談 ・コミュニケーション機器の貸し出し、調整 ・遺伝相談、就労相談 ・患者家族対象の医療療養相談会の開催 ・難病に関する情報発信(調査・研究) ・地域ネットワーク強化に向けた研修(会議)の開催 ・神経難病医療ネットワークの運営 ・保健所への支援(情報の収集と提供、講演やカンファレンスなどでの助言、関係機関への同伴訪問)</p>	<p>目標値 地域のネットワーク強化に向けた研修(会議):年1回以上</p>
<p>○在宅難病患者に対する訪問指導の実施(地域保健課) 医療費助成の新規申請や更新申請時の機会に患者の状況について把握し、また、患者の病状やニーズに応じて、支援の必要性の高い難病患者への、電話、面接、訪問等による支援を実施します。</p>	<p>目標値 新規申請患者への保健師支援において、初回支援基準票に従った訪問の実施</p>
<p>○保健所における難病事業の充実(地域保健課) 現在の難病患者を取り巻く社会情勢を踏まえて、患者個別に実施している電話、面接、訪問といった支援だけでなく、疾患に関する理解と、日常生活の質の向上につながるよう、難病患者及び家族を対象とした難病講演会や学習会、患者交流会といった集団支援を行っていきます。 また、地域の状況に合わせた医療・保健・介護・福祉のネットワーク構築に向けて、関係機関対象の研修会等の実施を行っていきます。これらの事業を通じて、地域の療養体制整備を図ります。</p>	<p>目標値 難病講演会の開催:各府保健所年1回以上 関係機関対象の会議や研修の開催:各府保健所年1回以上</p>
<p>○ハンセン病回復者のニーズに応じた医療・福祉サービスの提供(地域保健課) 地域で暮らすハンセン病回復者が求める福祉サービスの提供が可能となるよう、定期訪問や電話相談によりニーズを把握し、ハンセン病回復者支援コーディネーターや市町村、関係機関等と連携を図りながら、必要な支援に努めます。 また、ハンセン病後遺症に対し適切な医療・介護を提供できるよう、関係機関と連携し、研修等を通じて啓発を行います。</p>	

<p>○障がい者(児)歯科診療の充実(健康づくり課)</p> <p>障がい者(児)が、身近な地域で、障がいの特性に応じた歯科診療を安心して受けられるよう、障がい者(児)歯科診療施設の地域的偏在の解消に努めます。</p>	
<p>(1)必要な健康・医療サービスを受ける ②医療依存度の高い重症心身障がい児者等への支援の充実</p>	
<p>○医療依存度の高い重症心身障がい児者等の在宅生活を支える体制整備の推進(地域生活支援課)</p> <p>医療依存度の高い重症心身障がい児者等を取り巻くさまざまな課題の解決のために、保健・医療・福祉・教育等関係機関の円滑な連携体制のもと、地域生活の維持・継続のための地域ケアシステムの強化と福祉サービス等の充実強化に取り組みます。</p> <p>市町村における地域ケアシステムや自立支援協議会等における医療依存度の高い重症心身障がい児者等の協議の場の設置の支援や、専門人材の育成を行うとともに、市町村域でのケアシステムにおいて抽出された課題を中心に、支援が十分ではない事例についての課題整理と解決方法を検討する場として、府域での協議の場の設置を行います。</p>	<p>目標値(平成30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療・福祉・教育等の関係機関が参画し、医療依存度の高い重症心身障がい児者等に関する協議の場を全ての市町村において設置</li> <li>・保健・医療・福祉・教育等の関係機関が参画し、医療的ケア児等に関する保健所圏域等での協議の場を充実</li> <li>・市町村域で抽出された課題を中心に、支援が十分ではない事例についての課題整理と解決方法を検討する場として、府域での協議の場を設置</li> </ul>
<p>○保健所における専門的母子保健事業の実施(地域保健課)</p> <p>保健所において、慢性疾患児・身体障がい児や医療的ケア児とその家族に対して、保健師等専門職による訪問指導や療育相談等の個別支援、学習会や交流会等の集団支援を実施します。</p> <p>また、医療的ケア児に関わる地域医療機関や訪問看護事業所をはじめとする医療・保健・福祉・教育・療育等の関係機関とのネットワークを構築し、地域での在宅療養支援体制の整備を図ります。</p>	
<p>○医療型短期入所の整備促進(地域生活支援課)</p> <p>医療的ケアが必要な重症心身障がい児者の地域生活を支え、家族のレスパイトを実現するために、医療機関の空床を活用した短期入所事業の整備促進に取り組みます。</p>	<p>目標値(平成32年度)</p> <p>各二次医療圏域における医療型短期入所事業の実施：8圏域</p>
<p>○たん吸引等の業務を行うことができる介護職員等の養成(生活基盤推進課)</p> <p>介護職員等に対するたん吸引等に係る制度を適切に運用し、障がい福祉分野において医療的ケアに従事する人材の養成や確保を図ります。</p>	<p>目標値(平成32年度)</p> <p>新たに喀痰吸引等を実施する事業所：180事業所</p> <p>※10事業所×6圏域×3年間(平成30年度～平成32年度)</p>
<p>(1)必要な健康・医療サービスを受ける ③二次障がいへの対応</p>	
<p>○障がい者地域医療ネットワークの推進(地域生活支援課)</p> <p>脳性まひにおける二次障がいや脊髄損傷の合併症等のある方など障がい者が身近な地域で安心して医療が受けられるよう、障がい者地域医療ネットワークを推進するとともに、医療機関従事者に対する研修会等を実施することで普及・啓発に努めます。</p>	
<p>(2)(医学・社会的)リハビリテーションを受ける</p>	
<p>○大阪府内地域リハビリテーションの推進(地域生活支援課)</p> <p>身近な地域で質の高いリハビリテーションを受けることができるよう、大阪府障がい者自立相談支援センターを中心に、保健、福祉、労働などリハビリテーションに携わる関係機関で情報交換などを行い、連携強化を図るとともに地域リハビリテーションに関する情報について広報に努めます。</p>	
<p>○障がい者医療等の推進による自立支援(地域生活支援課)</p> <p>大阪府内の障がい者医療・リハビリテーションの拠点として、医療部門(急性期・総合医療センター)、訓練部門(大阪府立障がい者自立センター)、相談支援部門(大阪府障がい者自立相談支援センター)が連携し、治療の当初から医療リハビリテーション及び地域生活への移行に向けた生活リハビリテーションまでのトータルなリハビリテーションを実施するとともに、市町村とも連携して障がい者の地域移行及び地域生活を支援します。</p>	



<p>○高次脳機能障がい者への支援(地域生活支援課)</p> <p>大阪急性期・総合医療センターにおける高次脳機能障がいの診断及びリハビリテーションを引き続き行います。</p> <p>また、医療機関、福祉事業所等に対する研修を通じ、「使たらええで帳～高次脳機能障がいファイル～」の普及を進め、医療・介護に関わる支援者がそれぞれの役割を適切に果たし、医療機関退院後においても当事者の生活能力等の維持・向上に向けた取組みが円滑に進むよう支援します。</p>	<p>目標値(平成32年度まで)</p> <p>「使たらええで帳～高次脳機能障がいファイル～」を活用した研修会の実施 1回以上/年</p>
(3)悩みについて相談する	
<p>○障がい特性に応じた専門的な相談支援機能の充実(地域生活支援課)</p> <p>大阪府障がい者自立相談支援センターにおいて、相談支援従事者研修や市町村研修・関係機関向け研修等の人材育成を通じて市町村における相談支援の充実を図ります。</p> <p>現状において、支援困難な発達障がいを伴う知的障がい者に対し、個々の障がいや行動の特性に即したアセスメントを行い、当事者及び家族の地域での生活の安定につながるよう、市町村や支援機関等に対して具体的な助言及び支援を行います。</p> <p>なお、いまだ支援方法が確立されていない高次脳機能障がいにおいては、個別事例に係る支援ノウハウの蓄積が必要であり、市町村等と共に支援方法を検討し、地域の福祉事業所等が行っている先進的な支援事例等を収集・蓄積することにより、専門相談機関として適切な助言を行います。</p>	<p>目標値(平成32年度まで)</p> <p>・発達障がいを伴う知的障がい者支援のための研修会を開催 1回以上/年</p> <p>・高次脳機能障がいに関する地域の先進的な支援手法等を集めた事例集の作成及び配布</p>
<p>○保健所における相談支援機能の充実(地域保健課)</p> <p>保健所においては、医療的相談・障がい受容の相談・こころの健康の相談・思春期の相談・ひきこもりの相談・長期入院者の退院支援などの専門的相談に対応できるよう相談機能の充実を図ります。医療・保健・福祉の連携システムの構築を進めます。</p>	<p>《参考》</p> <p>大阪府保健所におけるこころの健康相談支援状況 平成28年度 相談実数 4,079件 相談延べ数 28,246件 訪問実数 1,270件 訪問延べ数 3,774件 (大阪府12保健所)</p>
<p>○こころの健康相談の実施(こころの健康総合センター)</p> <p>大阪府こころの健康総合センターにおいて、依存症・発達障がい・自死遺族の専門相談を充実し、府民のより専門的な相談のニーズに応えるとともに市町村や保健所の相談を支援します。</p> <p>①依存症相談</p> <p>依存症者を適切な治療につなげるとともに、本人の回復を促進するために、本人、家族、相談対応者等への支援体制を充実強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依存症相談事業の実施</li> <li>府民及び関係機関職員に対して、専門医等による相談及びコンサルテーションを所内で実施するとともに、保健所等の依頼に応じて、出かけるコンサルテーションを実施します。</li> <li>・家族教室の実施、拡充</li> <li>薬物依存症者の家族を対象とした家族サポートプログラムを実施します。</li> </ul> <p>②発達障がい専門相談</p> <p>成人における確定診断を行うことができる医療機関は十分とは言えないため、関係機関からの紹介に基づいて、成人の方を対象に、広汎性発達障がいの相談・専門医師による見立て・コンサルテーションを実施します。</p> <p>③自死遺族相談</p> <p>大切な方を自死で亡くされた方を対象に、自死遺族相談を実施します。また、自死遺族相談の対応力向上のため、相談担当者を対象に事例検討会、自死遺族相談従事者養成研修を実施します。</p>	
<p>○ピアカウンセリングの普及(地域生活支援課)[再掲]</p> <p>市町村障がい者相談支援事業として位置づけられているピアカウンセリングの普及を図ります。</p>	<p>目標値(平成32年度)</p> <p>市町村障がい者相談支援事業におけるピアカウンセリング実施市町村数 43(すべての市町村)</p>

<p>○小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリングの実施(地域保健課) 小児慢性特定疾病児等及び保護者等に対して、電話・面接・派遣によるピアカウンセリング等の実施や同じ疾患を持つ方々に交流の場の情報を提供するピアサポート等を行います。</p>	
<p>○身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者相談員活動の充実(地域生活支援課) 研修を通じて障がい者相談員の専門的な相談対応能力の一層の向上と、障がい者相談員間の情報交換を図り、地域の社会資源の一つとして、地域の実情に応じた活動を推進します。</p>	<p>目標値(平成32年度まで) 身体障がい者相談員研修 知的障がい者相談員研修 精神障がい者相談員研修 各年1回実施</p>
<p>○相談支援専門員の養成(地域生活支援課) 多様化する障がい児者のニーズを把握し、きめ細やかで適切な支援につなぐ役割を担う相談支援専門員の養成を図るとともに、支援に必要な知識の習得や調整能力等のスキル向上に努めます。 また、医療的ケア児の支援等障がい児者の福祉に係る新たな課題や制度の動向を踏まえ、専門人材としての相談支援専門員の養成とさらなる資質の向上を図ります。</p>	<p>目標値(平成32年度) 相談支援専門員の養成・確保 大阪府内で活動する相談支援専門員数2,500人</p>